

理工学書・専門書は…
Nikkan BookStore
 日刊工業 本 検索
 日刊工業新聞社出版局のホームページ
<http://pub.nikkan.co.jp/>

2019年(令和元年)
7月18日
 木曜日

日刊工業新聞

購読申し込みはフリーダイヤル
 東京:0120-412346
 大阪:0120-597117
 名古屋:0120-462346
 福岡:0120-817120
 monoasu.jp

記事コピー・転載の問い合わせは
日刊工業新聞社著作権管理センター
 TEL 03-5644-7101
<https://www.nikkan.co.jp>
 日刊工業 検索

本社(TEL)03-5644-7000東京都中央区日本橋小網町14-1/大阪支社(TEL)06-6946-3321大阪市中央区北浜東2-16/名古屋支社(TEL)052-931-6151名古屋市東区泉2-21-28/西部支社(TEL)092-271-5711福岡市博多区古門戸町1-1

体の異変…データが知らせる

作業員の安全サポート

日本の夏は高温多湿。現場で働く作業員の健康など、作業員の安全で、気温が35度Cを超え、健康状態をしっかりと把握するサービスの利用ニーズも年々増え、握る必要があり、熱が進みそう。企業は特に、熱によるストレスを測定し、作業員の健康をサポートする。IoT(モノ)のインターネットと、技術やスマートフォン、ウェアラブル機器などを活用して、体調管理につながる情報を提供するサービスだ。体調管理で問題なのは個人の主観のみに頼って対策を講じてしまうことだ。気温や湿度といった環境情報や生体情報を基に客観的に判断することが重要になる。

長引く梅雨がこれから全国的に明け、夏が到来する。夏場は屋内外で熱中症などにならないように体調管理に気を付けなければならぬ。そこで注目されるのが、IoT(モノ)のインターネットと、技術やスマートフォン、ウェアラブル機器などを活用して、体調管理につながる情報を提供するサービスだ。体調管理で問題なのは個人の主観のみに頼って対策を講じてしまうことだ。気温や湿度といった環境情報や生体情報を基に客観的に判断することが重要になる。



KDDIは製造現場や建設現場で作業員の労働災害を抑制するサービスを手がける。作業員が身に付けた腕時計型のウェアラブル端末などにより、温度や湿度といった周囲の環境や作業員の脈拍を測定する。これらの情報を組み合わせて個人ごとの「熱ストレスレベル」を推定し、4段階で評価。危険と判断された場合は現場責任者や作業員本人のスマートフォンなどに自動通知

夏の暑さ警戒

今年の梅雨明けは平年より遅く、東北や関東、東海地域などでは低温や日照不足が続く。ただ、熱中症になりやすい時期がずれ込んでくる。熱中症の発生は熱中症の発症の全体で割合として約4割を占める。熱中症は高温多湿な環境下で体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、調整機能がうまく働かなくなると発生する。発症しやすい時期としては梅雨が続き8月後半から、まだ暑さに適応できていないのに高温多湿となる梅雨明け時が要注意だ。

厚生労働省がまとめた「リンクゲイツ」を手がける。スマホで外出先から家の様子を確認

心地よい「近未来」の暮らし

熱中症対策 身近で支える

職場における熱中症による死傷者(死亡者と休業4日以上業務上疾病者)

年	死亡者数	うち死者
14	12	12
15	29	29
16	12	12
17	14	14
18	28	28

14-18年の熱中症の月別の死傷者

月	死亡者数	うち死者
1-5月	0	0
6月	6	6
7月	44	44
8月	40	40
9月	5	5
10-12月	0	0

NTT西日本は、IoTセンサーを活用し、室内の温度と湿度を管理。熱中症にかかると危険が高くなる。近未来の暮らしが、IoTセンサーで支えられる。

IoTで攻めの体調管理

KDDI スマホに危険通知

1年後に迫る2020年東京五輪・パラリンピックに向け建設が進む新国立競技場。夏場の作業は注意が必要だ。

ヘルメットにセンサー

シミックHD。耳たぶ温度遠隔監視。高い環境で使用し、注意を促す仕組みだ。万が一労働災害が発生した場合、早期発見につながる。ヘルメットにセンサーを装着し、温度や湿度を測定し、熱ストレスと呼ぶ健康状態を判断する。



TDKの「シルミー-W22」リストバンド型で可視化。同活動量計は加速度センサー、脈拍センサー、紫外線センサー、皮膚温度、活動量、紫外線照射などを測定し、クラウドに自動転送するため、装着者がスマホを操作する必要がない。

TDKは16年に東京から買収したリストバンド型活動量計「シルミー」シリーズを、医療・介護現場をはじめ、生産・物流現場でも活用できるように提供している。

同活動量計は加速度センサー、脈拍センサー、紫外線センサー、皮膚温度、活動量、紫外線照射などを測定し、クラウドに自動転送するため、装着者がスマホを操作する必要がない。

同活動量計を使えば、複数の作業員の生体情報や位置情報を同時に測定して可視化することが可能。作業効率の向上や働き方改革に活用できるほか、管理者による作業員の熱中症や疲労などのモニタリングにも使える。

18年11月から販売を開始している最新型のシルミー-W22は、ベルト部分やセンシング部分の形状変更と脈拍センサーの改良により、さらに精度の高い脈拍を測定できるようにした。

NTT西 保育園・学校施設見守る

NTT西日本は、IoTセンサーを活用し、室内の温度と湿度を管理。熱中症にかかると危険が高くなる。近未来の暮らしが、IoTセンサーで支えられる。

NTT西日本は、IoTセンサーを活用し、室内の温度と湿度を管理。熱中症にかかると危険が高くなる。近未来の暮らしが、IoTセンサーで支えられる。

深層断面
 SPECIAL EDITION

産業廃棄物の高度処理施設が誕生!!

365日24時間稼働 関東圏内最大級の処理能力 緊急時に対応可能な高い保管能力

MSRS (松伏スマート・リサイクル・システムズ)
 〒343-0104 埼玉県北葛飾郡松伏町田島東1-4
 TEL: 048-992-1039 FAX: 048-992-1089

YSRS (吉川スマート・リサイクル・システムズ)
 〒342-0008 埼玉県吉川市旭3-1
 TEL: 048-993-2511 FAX: 048-992-1050

東武商事株式会社 <https://tobu-3.co.jp/> 優良産廃処理業者認定制度 優良認定企業

お問合せお待ちしております

ASR MS JAB eco unit ISO14001

取り扱い許可品目(既存処理施設を含む)
 ・産業廃棄物の中間処理
 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、ばいじん